

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月2日

330
322 電子機器

調査者氏名 神谷弘行 *Shin*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Electronic Instruments	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 57年 1月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Nueva Vizcaya School of Arts and Trades (NVSAT)
(日本語): ヌエバビスカヤ工芸学校

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ()
所在地: Bambang, Nueva Vizcaya 主要都市からの距離 (マニラより251キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

電気科, 電子科, 自動車科, 溶接科, 陶芸科, 木工科, プラスチック科, 家政科
を有する工芸学校の一つであり, 教職員数58名

ニ. 設備概要: 電子科には, 中古黒テレビ1台, 2チャンネルラジオ, 2チャンネルラジオ, 茶台の工具のみ

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: テレカールアドバイザー, 検校
2. 技術の範囲: ラジオ, TVの修理技術, 教育用機器の作成, 教育内容の改善
3. 業務の形態: 現地の工芸学校に対して電子技術指導, 直接学生に対して講義, 必要に応じてコンニエーターに代わる技術指導等
4. 対象者及びターゲットの技術水準
カレッジ, コンピューターの学生及び工芸学校の生徒. 工芸学校は地元の中心で科数は5~6年程度
5. 現地で活用できる機材
ラジオ, テレビ, 部品
6. 第3国人の配置
なし
7. 使用する言語
英語, ilocano

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請.
潜在失業者の多い地方都市では1人でも多く技術を身につけて, 就業の機会を
与えることは重要なことであり, 特にラジオ, TV修理技術が協力の隊員に学習せ
ねばならない。

(4) 隊員の資格・条件・(絶対条件について○印で囲むこと):
高校卒以上。
東洋を1年~2年以上が望ましい。
この地域には, カラーTVはまだ普及していない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 3月 25日

調査者氏名 平沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Electronic	新規	(男) 1人	58年1月	
	(日本語) 電子機器	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Technical & Vocational Education Div.

(日本語): 文部省職業訓練教育局

② 隊員勤務先名称: Politeknik Kuantan 日本語名称(77177/技術工学短大)

所在地: Sekolah Menengah Teknik, Alor Akar, Kuantan 市(77177)から 250 キロ

③ 事業規模及び内容: 中堅技術者育成のために1976年に設立された学校が電子工学を含む電気科のほか機械工学、土木工学科等と有する。学校予算(年間)は400万2千円(4億円)。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各学科ともに座学用教室と実習教室と有する。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 技術工学短大の一般教員と同格

② 技術の範囲: 電子回路についての知識と技術と有し、各種装置と自分で作る。電子装置回路、プリント基板設計、テラワット、マイクロ装置の製作技術、トランス、モーター、シフト、自動制御機器についての

③ 業務の形態: 技術も求めている。理論より実践に重点を置いている。

主として実習面での指導にあたり、語学のハンデが無くした時には実際に学生と対面して講義も担当することも出来る。実習授業を担当するに於いて先生方に実践の技術と伝授の中心となる業務になる。また学科内のプロジェクトを担当し、教材を作成し、2年生学生と対面して卒業プロジェクト製作の指導も行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 教員のうち3人は大学卒、2人は工業系教員養成学校卒業で年齢は22-30歳くらいは高い。学生は日本流に言う高技上級。

⑤ 現地で利用できる機材: 必要の一般機材、機具は揃っている。

⑥ 第3国人等の配置状況: 米軍平和部隊2人(機械、建築)

⑦ 使用する言語: 主としてマレー語(但し、技術用語の中には英語ばかり残っている)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上記(2)の④で述べたが、現在指導にあたりいる教員は大学を卒業しており、理論面では優れているものもいるが、実践技術と関係が今ひとつと云うことがあり、学生の卒業後現場で実際に役立つ技術と得たい。という希望をもっている。基礎的技術はこれに立脚する応用力を中心とした経験が求められているので、現在米軍平和部隊員(55/1次、電子機器)が電子関係と指導しているが、実質的には本隊員の交替になる。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○(大学工学部電子系又は電気工学科卒)経験5年以上か望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 7月 13日

調査者氏名

平沢 昭男

330 電子機器

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Radio TV Repairs	新規	(男) 1人	58年 2月	
	(日本語) ラジオ・TV修理	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Teachers Training Division (日本語): 教育省 教員養成課					
② 隊員勤務先名称: Technical Teachers Training College (TTTC) 日本語名称(技術系教員養成大学) 所在地: Jalan Tentara Bandas Tun Razak, KL 主要都市(KL中心街)から 6キロ					
③ 事業規模及び内容: 修業期間は3年。商業工業デザイン技術科に分かれています。RTVは技術科の うち1つで1クラス約10数名ずつの学生が対象です。RTVの場合1年生10名、2年生16名 3年生12名で若干名の女性が含まれています。中等師範校の教員を養成するのが目的です。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実習教室等各専門分野の設備のほか図書館、体育館、学生 運動場等があります。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ラジオ・テレビ科講師					
② 技術の範囲: 電子回路 音響機器 電気理論 PAL方式カラーテレビの理論、実習をマレー語で 担当する。最近デジタルロジックも導入されるので、ゆえに知識も必要です。					
③ 業務の形態: 特にカラーテレビの修理技術は絶対不可欠です。日本では方式も違うのでPAL 方式についての知識と持ち合わせることが望ましい。 1学期 1~4月、2学期 5~7月、3学期 8~11月 各学期の間は3週間、学年の間は 7週間の休暇があります。月々 7:45AM ~ 2:15 PM 金 7:45AM ~ 12:15 PM 1 period 60分。RTV科の講師は1週10 period以上を担当していません。 講義から実習指導の間は主に実習指導を、語学は不自由な中での講義も担当する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生は15歳から23歳までの中等師範校肄業生 と優秀な成績で卒業した者です。18~23才の者がいます。					
⑤ 現地で利用できる機材: Oscilloscope, Sweep marker Generator, Digital multimeter, Analog training machine, Frequency counter, RT generator, PAL colour pattern generator, VHS Video tape recorder, Radio cassette,					
⑥ 第3国人等の配置状況: Colour TV Receiver (日本、ヨーロッパ、Local等各種あり)、第一のものは					
⑦ 使用する言語: マレー語 → 英語 (補助的)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在マレーシアではカラーテレビの普及が著しく、日本では 四半世紀前より、スウェーデン等の電子メーカー間の競争があります。しかしカラーテレビの 技術の急進的な進歩の状態であり、将来の需要に対して人材を養成しなくてはなりません。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(高専又は短大卒以上) ○カラーテレビの修理経験と有資格者、語学力があること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 11月 日

330 電子機器

調査者氏名 堀内清美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Radio & T. V. Repairs	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) ラジオ・テレビ修理	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 59年 7月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Rubber Industry Smallholders Development Authority (RISDA)
(日本語): 小規模つみ農家開発公団

2. 隊員勤務先名称: Ridea Training Institute 日本語名称 (Ridea 訓練所)
所在地: Padang Rengas, Perak 主要都市からの距離 (Kampar) 6キロ

3. 事業規模及び内容: 1952年 小規模つみ農家の保護及び経営改善のため設立。
この種植指導が中心であり、木植、野菜栽培、指導、農家子弟の教育
職業訓練を通じて農家の生活改善、経済的向上を図る。年下農家の50万世帯、22,726,000

4. 設備概要: 22acの敷地に事務所1、寮(10人42室)1、教室2、食堂1、R.I.D.A. 用の
野球場あり、教師の現住15人あり。R.T.V. 2.210 台 6A 用増設済み。現住何もない。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - R & T.V. 修理の Instructor

② 技術の範囲 (業務の形態) - 電子機器 特に R & T.V. (color 含む) の修理技術と
職につく。小規模つみ農家の子弟 (17~25才) に授け、
生徒、遠路来習、U.C. の修校卒業以上の生徒も、学費は
支給。同レベルの生徒も、研修に必要と見られる。
R & T.V. の専門知識と併せ、数学等を教える必要も出た。
研修に始まったころの設備を充実させるための助言も行った。

③ カラオケパート 4 本 2.217 1982年6月開始と予定。準備が済んでいるが、82年

④ 現地の利用の状況 1~4月の workshop、建設が行われてきた。必要の材料は RISDA の準備が済んでいるが、カラオケパート
隊員配属の際には注意が必要。

⑤ 学習科目 - TEL

⑥ 使用言語 - マレー語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小規模つみ農家子弟に雇用機会を与えるための技術訓練と施す新しい
プロジェクトがある。訓練終了後、各村で自主運営できるように
したい。その意味での修理技術と身に付けさせることが重要と見られる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57年 9月 15日

調査者氏名

堀内 清美

330 電子機器

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Radio / T.V. Repair	新規	(男) 1人	58年7月	
	(日本語) ラジオ・テレビ修理	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

② 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasional 日本語名称(中等職業訓練校)
所在地: Jalan Yahaya Aldatar, Johor Bahru 主要都市(ジョホールバハリ市)

③ 事業規模及び内容: 中等職業後の生徒(15~17歳)を対象とした2年制(Form 4, Form 5)の職業訓練校で7学科を有する。(自動車科(車), 電気, R/TV, 工作機械, 溶接, 極小商業)。生徒総数約470名で各学科に教師が4~5名配置されている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: ラジオ・テレビ科の教師

② 技術の範囲: ラジオ・テレビ修理の實踐技術。学校では卒業時の生徒に修理技術と電気工の基礎知識、技術を教える。教師に対する技術講習も行う。

③ 業務の形態:
R/TV科の生徒各学年34~36名を対象に 現地教師と共同で授業を担当する。生徒の学習時間数 Form 4で週22コマ(1コマ=40分), Form 5で21コマ。現地教師の現在(1人あたり)平均授業時間(理論を含む)は週25~28コマ程度。

授業開始 午前7時45分 終了は午後4時20分
12月の連休は全土の休みの週休2日制 (ただし一部の授業は行われる)

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現地教師は6名。年齢は30才×1, 28才×2, 26才×2, 25才×1。うち5人がTTTC(技術員養成学校)卒, 1人がUTM(ユニバーシティ)卒, 4人は18歳。

⑤ 現地で利用できる機材: 本機2270(7台), 107-1173(12), テレビ真空管(4-2013, 2011), テレビIC(5-1231), シリコン抵抗(10), 107-1173(10) 2台。

⑥ 第3国人等の配置状況: 自動車整備科に 協同隊員1名 (昭55年7月~57年9月まで)

⑦ 使用する言語: マレー語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現地の教師は理論の教師から技術指導の苦手をあきらめた分野に隊員が力を注ぎたいと希望している。しかし隊員は生徒に教えることに興味がある。この教員の技術レベルは低いと見られる。現地の教師はR-TVの各科目の知識が浅い。現地の教師はR-TVの知識が浅い。現地の教師はR-TVの知識が浅い。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

- ・ 専門学校 あるいは 工業高校 卒業で 実務経験重視
- ・ 26歳以上が望ましい。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 7 月 30 日

調査者氏名 山口 久一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) Electronics (日本語) 電子機器	新規 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Vocational Education, Ministry of Education (日本語): 文部省 職業教育局					
② 隊員勤務先名称: Sukhothai/Buriram Technical College 日本語名称(スコーイ(フツラム)技術大学) 所在地: 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 隊員は教師として電子機器を教授する。 また、業務計画書を作成し、必要に応じて関連の資料 材、訓練器具の保管管理指導も行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高格者を厳選する。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受人希望の背景と受入国の期待:					
スコーイ(フツラム)技術大学は職業教育を施し、修了証書を授与して いる。またこの教育内容は商業と工業であり、随分は電子機器 の分野で実技指導を含む教育の延長上にあると期待される。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
実務経験のある22才以上の者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 3 月 30 日

調査者氏名

山口 孝二

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) Electronics	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語) 電子機器	交替	(女) 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Leprosy Division, Department of Communicable Disease Control (日本語): 保健省伝染病抑制局分室課; Ministry of Public Health					
② 隊員勤務先名称: Non-Somboon Leprosarium 日本語名称(ノンソンブーンズ、病院) 所在地: Khon Kaen Province, Thailand 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 作業療法士					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: らい患者および家族に対し、ラジオ、TV その他電気製品の修理、組立の技術を教授する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: (器具、資材については所屬機関から貸与される)					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: らい患者及び家族に作業療法、職業訓練を通じ自活の道を考慮する。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
作業療法の経験があれば望ましい					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 4 月 21 日

調査者氏名

山 口 孝 一

330 電子機器

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) Telecommunication or Antenna Engineering	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語) 通信工学(又はアンテナ工学)	交替	(女) 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Office of University Affairs					
(日本語): 大学庁					
② 隊員勤務先名称: Dept. of Electrical Engineering, Khon Kaen Univ. 日本語名称(コンケン大学電気工学部)					
所在地: 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 講師(又はそれ以上)					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 隊員は学生指導に要する通信関係機器を独自にデザインし、製造する。例には、最新のデザインの作成、アンテナの配列のデザインと製作等(同学部にて適切と思ふ計画実施に於て隊員が経費その他必要物品について全責任を)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 講師クラス					
⑤ 現地で利用できる機材: 同学部の既存在庫材(詳細不明)					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 電気工学部は創設以来16年の歴史を有しており、教授陣は高学位を有するが、電気工学関係教材のデザイン、実験等に経験が乏しいので、この分野での協力が期待される。現有機器の保守、改善も見込まれる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
大卒(電気工学科)で少なくとも1年の実務経験					
英語会話					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

電子機器(医療機器)

記入 昭和 57 年 8 月 21 日

調査者氏名

山口 厚一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ	(現地公用語) Medical Laboratory Instrumentation	新規	(男) 人	年 月	
	(日本語) 医学実験機器	交替	(女) 人 (男女不問) 1 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Office of University Affairs
 (日本語): 大学庁
- ② 隊員勤務先名称: Faculty of Associated Medical Sciences, Khon Kaen University (日本語名称: コーンケン大学医学部附属病院)
 所在地: コーンケン | Srinagarind Hospital 主要都市()から キロメートル
- ③ 事業規模及び内容:

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 医療技術者
- ② 技術の範囲:
- ③ 業務の形態: (1) 教育…… 医療技術専攻の化学年の学生に 医療実験機器の使用 方法について教授する。
 (2) 役務…… 睡向の許さぬコソ、大学附属病院(Srinagarind Hospital)の 学務課の職員と共に 医療実験機器の保安係の設けに参加 する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 医療技術者、電気技術者(附属病院)

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語:

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日常使用には高価な医療実験器具の保安、維持に大きな 問題である(特に地方では); 加えて、医療技術専攻の学生にとって、医療実験器具 の培養方法の改良(特に、実験面)は 緊急であり、卒業後 通常の医療器具の使用 保安ができておられるにしろはらる。従って、医療技術の教授法の改善への協力(特に 医療実験器具の保安面)、大学の医療実験機器保安課の設けに参加する。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

- 電子工学専攻者で専攻以上
- 医療実験器具の保安の実務経験

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 5月 20日

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Radio/TV	(男) 1人	訓練開始 57年 10月
	(日本語) 330 電子機器	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 58年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Manpower, Employment & Training (BUMET)
(日本語): 労働社会福祉省職業訓練局
- ロ. 隊員勤務先名称: Technical Training Centre, Chittagong 日本語名称 (4.7730-職業訓練センター)
所在地: P.O. Nashirabad, Dist: Chittagong 主要都市からの距離 (約60キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 2年制から6ヵ月コースに移行した職業訓練センターで
電気、溶接、木工、ラジオTV、空調等13コース、教官約50名
- ニ. 設備概要: 国庫のプロジェクトとして機材が入っており施設も揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 校長下の教官
- ② 技術の範囲: ラジオテレビ(白黒)受信機修理技術及び基礎電子工学
の生徒への指導。当口ではカラー放送も2局あり、指導したとしても修理技術が
あれば好ましい。放送は国営のみで5局の地方局がある。1日約6時
10分言語で実施。
- ③ 業務の形態: 実習指導及び講義、他機材の修理
- ④ 対象者: 16~18歳の10学年卒。コンピューターは基礎的白黒テレビ技術はある。
その指導員の15%ほどは真空管式の勉強しかしてないため、ILO専門家の指導
を得て何とか半導体も理解できるようにした。
- ⑤ 機材: オシロスコープ(シグナル、アナログ)、スイッチ、マーカー、オートオシロスコープ、
テストインテラー、パターンセネラー-C (CIR-B, BAL-B)、ポイントストロブ、2チャンネルブリッジ、
マルチチャンネルカウンタ、A.V.O. 2チャンネル、ILF10=2チャンネル、デジタルマルチメータ、
バンドラジオ35台、白黒真空管式テレビ5台、白黒トランスジスタテレビ8台 等 ILO 援助
- ⑥ 取場における他の外国人等: JOCTO 2人、LWT
- ⑦ 使用可能な言語: バンガール語、英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本年5月までILO専門家(JOCTOB)の約3年指導
していただき、その後の指導をJOCTOに期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専・短大卒以上

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 8 月 21 日

調査者氏名 藤 屋 洋

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Electronics (日本語) 電子機器 (TV修理)	(新) 規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education (日本語): 高等教育省					
② 隊員勤務先名称: Junior Technical Institute 日本語名称 (職業訓練所) 所在地: Ralmelana 主要都市 (コロンボ) から約12 キロ					
③ 事業規模及び内容: 高等教育省は技能者養成のため全国に取訓短大1校、高等職業訓練所8校、職業訓練所13ヶ所を有す。此の職業訓練所等で半第2年間の訓練が行われていふ。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): コムラナ取訓では工作機械、自動車整備、電気関係等、技能者養成のため102人の訓練が行われていふ。此の訓練を行うための講義室、実習室がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: テレビ修理コースにおける実習指導者					
② 技術の範囲: 白黒及びカラーテレビの基礎的な修理技術の指導					
③ 業務の形態: 訓練内容は専門科目が週20時間の実習、9時間の講義、他に数学、理科、労働関係、製図、英語等の肉連及び一般教養的な講義もある。隊員は主として実習を担当することになる。訓練期間内は1年以内、訓練生は15人が予定されている。本コースは1983年4月から開始される予定である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は8年間の学校教育修了者で入所時19才以下であり、カウンターパートはコース開設時に採用されるが、他のコースの例を以て約10年					
⑤ 現地で利用できる機材: 1の学校教育修了級の5年の経験者がある。オシロスコプ、各種テスター等が、1983年2月に日本から供与される予定であり、隊員はこれらの機材を利用して指導にあたる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: シンハリ語が主体 時には英語も必要となる。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 普通教育修了者に対し、技能訓練を奨励し、雇用の機会を創出する目的で訓練が実施される。当国では新しい分野であるテレビ修理の技能者養成が期待されている。同当国でテレビ機放送が開始されたのは1982年2月であり、現在の普及台数は約12万台である。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 職業訓練所又は高等専科。実務経験2年以上、取訓での指導経験があるは好都合である。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年6月16日

調査者氏名 志原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア共和国	(現地公用語) Electronique (VTR System) (日本語) 電子機器 (322)	(男) — 人 (女) — 人 (どちらでも可) 2人	訓練開始 56年9月 派遣予定 57年2月 受入期限 年月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
Office des Travailleurs Tunisiens à l'Étranger de l'Emploi et de la Formation Professionnelle, Ministère des Affaires Sociales			
1. 配属先名称 (現地公用語): et de la Formation Professionnelle, Ministère des Affaires Sociales (日本語): 社会事業者、チュニジア人労働者雇用職業訓練局			
2. 隊員勤務先名称: 現行のこの CIPE (Centre d'Instruction et de Perfectionnement d'Electronique) 日本語名称 (電気技術者職業訓練センター) Tunis 所在地: ed de Perfectionnement d'Electronique) 主要都市からの距離 (Tunisより 0キロ)			
3. 事業規模及び内容: 電気関係の専攻とする職業訓練センターで、電子科(ラジオ-TV)、電気機械、冷凍機械、屋外配線の各科があり、常時約150人の生徒が訓練を受けている。修業年限は1年前後。今回、電子科の学生増員のため教育方法を改善し、VTRによる教育システム(ソニー社)を導入する。			
4. 設備概要: 電気に関する訓練所としては当国でトップクラスである。電子科に限れば、このままの協力隊員の派遣実績もあり、設備・機材とほぼ充実している。			
(2) 隊員の業務内容: 上記1.記載の教育方法改善のため、JICAの単独機材供与で新しく導入されたVTRシステムによる教育は'82年4月より予定されている。隊員は本システムによる教育のカリキュラム作成やその応用、機材の保守・取扱い等と現地人教師に指導しつつ、自らこれに従事する。			
① 隊員の業務上の地位: 高等職業訓練所の教師(指導員)			
② 技術の範囲: ラジオ-TV(カマ)に精通している必要は必ずしもなく、上記VTRシステムによる教育は将来他の学科へ導入の予定のため、電気一般の基礎に明るく応用できることが要求される。			
③ 業務の形態: 当初は語学ができないので、指導というより、隊員が直接機材の保守・取扱いやカリキュラムの作成・組立等にあたることになり、おのおの、現地人教師の指導ということになる。勤務時間は月々全週32時間・土日は休む。なお、6月15日~9月15日の3ヶ月間は夏季勤務時間となり、07:30~13:30の6時間・5日(月~金)の30時間である。			
④ 対象者はカウリーレポート: 学生は高卒(17~18歳)ではあるが、その後、学力は日本人学生よりかなりある。カウリーレポートにある教師は日本の工業短大卒程度であり、フランスで専門技術を学んで28歳~34歳の者の中から決まることになっている。			
⑤ 現地で利用できる機材: 数・種類ともにほぼ充実している。VTRシステムは'82年3月設置予定。			
⑥ 外国人: CIPEはすでに日本によるプロジェクトと作っており、隊員2名、JICA専任家(CB)1名が現在勤務中。隊員2名(本件)と専任家(CB)1名を新たに要請中。			
⑦ 使用言語: フランス語(訓練に当たっては取得し、後現地で夜学等で取得予定)			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国で考えている協力とは、実利と現実主義に基づくものであり、日本側が考えている理想主義との間には大きなギャップがある。職業訓練所では、日々の技術革新にマッチした技術訓練を行わねばならないので、新システムを導入とこの活用に関して現地側の期待は大きい。またCIPEへの隊員派遣は昭和50年ICAの連続しており、その残った実績に基づき、今後大いに期待されている。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
学歴: 大学卒が望ましいが、高等卒の以上であればよい。(ラジオ-TV(カマ)に明るいこと)			
実務経験: 2年程度 (技術的観点からでは無く、新卒は考えが甘く問題が多いので)			
VTRシステムによる教育について経験なき場合は、現在派遣中のJICA専任家(CB)によって派遣先技術研修(ソニー社にて)をアレンジすることをお考えされる。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

322 電子機器

記入昭和 55 年 3 月 15 日

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Radio-TV	(男) 1人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) ラジオTV一般	(女) 1人 (どちらでも可) 2人	派遣予定 56年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère des Transports et des Communications
(日本語): 運輸通信省

○ 隊員勤務先名称: Ecole des Postes et des Télécommunications 日本語名称 (郵便電気通信学校)
所在地: Km4 Route de Raoued, ARIANA, Tunis 主要都市からの距離 (Tunisより4キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本校は1972年に運輸通信省の幹部取組養成のため設立された学校で現在、郵便、電気通信、情報管理の3部門を有し、それぞれ生徒数300(電気通信)150(郵便)150(情報管理)に対し35名の教員が1年~4年のコースにより専門教科を教えている。

ニ. 設備概要: 電気通信分野(ラジオ、テレビ、電話等)の教授用機材、計器類、放送中継車はほとんど揃っている。隊員の活動分野については勿論追加するべきものも多くなるであろう。

(2) 隊員の業務内容

本校は600名のうち電気通信分野は300名の生徒がいる。基礎課程と専門課程の二つに分かれ、基礎課程は約60名で1年コース、バカレパに落ちた者が選抜試験で入学させ、1年後に校手補として電気通信関係、放送関係へ配属される。専門課程は2年コース140名、4年コース100名で、いづれもバカレパ(大学入学検定)に合格した者が成績順に入学させる。2年コースを終った者は校手補に、4年コースを終った者は教師に任命されて省内の他の部門に配属される。隊員の任務は大学工学部の講師と同程度と考えられる。ラジオ、テレビの理論および実験指導送信から受信まで一応すべてについて授業する。隊員の能力を見て、何学年を指導するかと決定することになる。何れもフランス語で専門技術を教えられる力を持つていなければならぬ。生徒の年令は17歳~23歳位で、70%が男子30%が女子である。無線工学基礎、ラジオ送信、ラジオ受信、テレビ送信、テレビ受信、電波伝播、空中線等すべてについて広く知識を有し生徒に判り易く教えられることが肝要である。当国のテレビはPAL方式およびSECAM方式を採用していることこの面での知識を十分に持つていなければならぬ。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在フランス人講師が3名またはすべてチュニジア人講師であり今年9月からの新学期にはフランス人は1名のみとなる。電気通信分野で大きな発展を待っている日本の技術への期待は大変なものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について◎印で囲むこと): 大学工学部の講師と同程度の授業を行なった者◎大学工学部卒、経験2~3年、望むらくは大学院修了者。フランス語による電気通信、電波の理論を教授し、実験の指導ができること。テレビ方式についてはPALとSECAMを研修しなくてはならない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 23 日

調査者氏名

江畑 義徳 (印)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タンザニア	(現地公用語) ELECTRONIC ENGINEER (日本語) 電子機器	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58 年 9 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF COMMUNICATION & TRANSPORT, ZANZIBAR (日本語): ザンジバル通信運輸省					
② 隊員勤務先名称: DEPARTMENT OF PORT AND MARINE 日本語名称(船舶・港湾局) 所在地: ザンジバル市内 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 船舶港湾局の7-7ショップは旋盤・溶接・木工・電気等8つのセクションがあり、MAPINDUZI(2700トンの日本)MAENDELEO(1500トンの日本)TAHHURI(1500トンの英国)AFRICA(400トンの英国)UHURU(1500トンのタンザニア)UKOMBORO(1500トンの日本)の各船及びICE-Nポート、FE-Y-ポートの保守					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 管理にある。上記セクションの130 今更替のために各船に搭載してある各種電子機器の修理等にある。また電子セクションが設けられている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 船舶港湾局の電子技師(電子部門の長的存在となる)					
② 技術の範囲: 上記の各船にはトランジスタ(大・小型)ジマイクコンパス、レーダー、ラジオ等を搭載している。これらの機器はほとんど日本製であるが、これらの保守・管理全般を度ける。					
③ 業務の形態: 7-7ショップ(現在改装中)及び船中での業務となる					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 新設のセクションなので、現在としては対象者は少ない。カウンターパートを含め最終決定される。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在としてはこれといった機材はない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 船舶・港湾局に日本人専門家一人(船員教育)					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本からの援助された船があるが、故障するたびにケニア、モザンビーク等には外部委託している現状から、新たに協力隊員を導入し、特に電気電子機器類は日本製の多いこともあって、技術導入を切望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
① 高卒(電子科)以上					
② 実務経験は2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年2月25日

330 基として現地

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Radio/TV Repair	(男) / 人	訓練開始 56年12月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 57年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限57年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LABOUR AND SOCIAL SERVICES

(日本語): 労働社会事業省

2. 隊員勤務先名称: VOCATIONAL REHABILITATION CENTER

日本語名称 (身障者職業訓練センター)

所在地: P.O. Box 6400 NDOLA

主要都市からの距離 (ポラポラ市内)

3. 事業規模及び内容: ガンビア政府(労働社会事業省, 社会福祉局), 労働者教育基金, フランスの資金援助によりILOのプロジェクトとして身体障害者(肢体不自由者, 盲人, 聾啞者)の授産施設の機能をもっている。現在, 金属加工, 木工, ラジオテレビ修理, 事務タイピストの4コースが設けられている。

4. 設備概要: 各コースとも, 最低必要限度の設備が設けられ, 同敷地内に訓練生の宿舎もある。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の職務上の地位: ラジオ・テレビ修理の指導員として従事

2. 技術の範囲: 身体障害者が自立できる様, 主として実際にラジオ・テレビの修理と指導するだけの能力, 技術と必要とする。

3. 業務の形態: 教室にて講義と実習を行なう他, 同センターの他の活動等にも積極的に参加する。訓練計画は文部省職業訓練局のカリキュラムに基づいて作成され, 又, その指導を受けている。

4. 対象者: 訓練生は全て身体障害者であり, 訓練期間は1年半, 訓練生は10人である。卒業時, 同国家試験委員会の実施する修了試験に合格した者には修了証書が発給されている。

5. 機材: 必要最少限度の工具, 実習機器は備えられている。

6. スタッフ, 訓練生等: 指導員7名, 準指導員3名, 訓練生は各コース10人の全訓練生40名。

7. 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ハンディキャップをもつ人達への職業あせん, 訓練, アフターケアについてはガンビアにおいて未発達段階であり, 単に職業訓練の指導にとどまらず, 全人的なアプローチを期待されている。可能な限り, 日本においても身障者授産施設等での実務経験を有し, 情熱のある隊員の派遣を希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 高卒(電子科)以上 2. ラジオ・テレビ修理に熟練していること 3. 身体障害者授産施設等でのボランティア経験のある者が望ましい 4. 単車免許取得 5. 実務経験年数3年以上

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57年 3月 15日

調査者氏名 奈良輪睦美

受人希望国名	受人希望業種	区分	受人希望人数	受人希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Electronics Lecturer	新規	(男) 1人	58年4月	
	(日本語) 電子機器教官(修理教官)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

② 隊員勤務先名称: MaKeni Ecumenical Centre 日本語名称(マケニエキュメニカルセンター)
所在地: P.O. Box 50255, LUSAKA 主要都市(ルサカ)から 15 キロ

③ 事業規模及び内容: 15年前に設立されたザンビア人の宣教師が地域奉仕活動のため1971年私財を投じて、国際技術協力の得て設立された。現在200名の生徒が家政一般教育農業訓練の部門25コースで学んでいる。コース内容としては成人教育、初等教育、就学前教育、農業訓練、農業生産、栄養改善、医療活動、家族計画等の教育普及活動が目的とされている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 27名のスタッフの滞居にあつては、セクター内敷地は60,000m²の広さ、診療所、栄養改善センター、バスケットコート、講堂、教室、家族計画室、電子機器の修理室、養鶏場、農場、栄養改善宿舎、裁縫室がセクター内にある。

(2) 隊員業務内容: 電子機器コースは本年1月より正式にスタートする予定であるが、教官(隊員)の間には合点がなく、ザンビア人のスタッフを備へ、入札6月に開始された。隊員は文部省職業訓練局で作成したカリキュラムに従って理論、実地両方について教える業務となる。

① 隊員の業務と地位: 電子機器(ラジオ、テレビ修理)教官

② 教授の範囲: ラジオ、テレビの修理と精確な理論、実習を教授する。

③ 業務の形態: 生徒が2年間、ラジオ、テレビの修理が出来る様に効果的に授業を行う。尚卒業時に資格取得試験に合格する様に指導が望まれている。

④ 対象者及びカウチングポート: カウチングポートとして職業訓練技を卒業したザンビア人(25人)が、協力隊員が来る迄は彼が実際に教鞭を取る予定だが、隊員が来れば彼が全責任を負う。同ザンビア人はアシスタントとして、生徒は年齢制限はないが、現在大学中の人や、初等教育卒業後の若者で、平均セカンダリーレベル7年、同等程度(日本の中3年)の学力がある。

⑤ 現地で利用出来る機材: ショールーム、テレビ、ラジオ、アンプ、工具、視聴覚機器等が、西ザンビア人の援助で一応揃っている。

⑥ 第3国人等の配置状況: セクター所長(フランス人教師)、他

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受人希望の背景と受人国の期待: このセクターは基礎知識に乏しい生徒に指導してくれたいと期待している。隊員は文部省職業訓練局で作成したカリキュラムに沿って独自の指導法・時間割の策定、独自の学習法等を確立して欲しいと望まれている。又2年次には授業と共に実際にラジオ組立生産を開始を期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 高専・大卒(電子工学専攻)以上
② 実務経験5年以上が望ましい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年2月25日

330
電子機器

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Radio/TV Repair	(男) / 人	訓練開始 56年10月
	(日本語) 電子機器(ラジオテレビ修理)教官	(女) 人	派遣予定 57年2月
		(どちらでも可) 人	受入期限57年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION AND CULTURE, DEPARTMENT OF TECHNICAL EDUCATION
(日本語): AND VOCATIONAL TRAINING : 文部省技術訓練局

ロ. 隊員勤務先名称: LUANSHYA TRADES TRAINING INSTITUTE 日本語名称 (ルンシャ高等職業訓練校)
所在地: P.O.Box 90387 LUANSHYA 主要都市からの距離 (市内キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当校の学生総数は約170名, スタッフ数16名(外人講師1名),6コースが開設されている
(自動車整備科,電気科,事務機器科,ラジオ・テレビ修理科,9化科,速記科)文部省職業訓練局の定めた指導要領に沿って2年間実技を主とした実地学科を指導し一般技術者を養成している。

ニ. 設備概要: カナダ政府等の援助により,1971年に設立され,各コースとも指導に必要な程度の教育設備機器類は揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の隊員の地位: ラジオ・テレビ修理コースの専任教官となる。

2. 技術の範囲: ラジオ・テレビの理論(*)ならびに修理に精通しており指導できることが要求される。*(電子回路,変圧器,送受信理論,トランステレビ理論,波長等,電子工学一般の科目)

3. 業務上の形態: 教育型,週30時間程度の授業を担当(学科6時間,実習22時間)

4. 訓練生: セカンダリー・スクール Form V 卒業生(高校3年卒業程度,英語・数学ならびに物理・化学の修得者)

5. 利用できる機材: 実習室と教室には,必要最低限の機材は備わっている。

6. 語学: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビアナイゼーションの進む中,中間技術者の育成は急務であり,特に教育分野での協力を必要としている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 学歴: 高専あるいは短大卒(電子工学科等専攻)以上

② 実務経験: 3年以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

電子機器

記入昭和 56年 3月 20日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Electronic Teacher	(男) 1人	訓練開始 56年12月
	(日本語) 電子機器教官	(女) 1人	派遣予定 57年3月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年4月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
Ministry of Education & Culture.			
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Technical Education & Vocational Training			
(日本語): 文部省 技術教育職業訓練局			
2. 隊員勤務先名称: Zambia Institute of Technology 日本語名称 (ザンビア工科大学院)			
所在地: P.O. BOX 21993, KITWE 主要都市からの距離 (井よりZキロ)			
3. 事業規模及び内容: 当校は中自技術者教育大学院、学費格別の高校(FORM IV)卒業試験合格(上位)求者学生数50名、1/2年約15-30名、修学年数2年半、3年、4年、工業科、理科、建築科、土木科、電子科、鉱山科、その他全部が男子である。(但し他は凍記、経理科は女子)。教官数約90名、うち40~45%が外人講師(日本人、英国人、スリランカ人、その他)。当校は1970年にザンビア政府(建物)及びザンビア政府(教育機材、スツ、他)の援助により設立され、全寮生、その他毎月K20000半が支給される。授業料等一切無料。			
4. 図書室等教育設備(実技、座学用)は整っている。			
(2) 隊員の業務内容			
1) 業務上の地位: 電子機器教官			
2) 技術上の専門: 電子基礎理論、トランス、ラジオ(AM、FM)、電子制御、工業電子、テレビ、電子機器、TV(自給)、マイク理論と教授法、実習重視である。特に数学の相談や低レベルの指導に力を入れている。指導方法に工夫を凝らしている。			
3) 業務の型態: 授業及び実習等の講義指導で週18-24時間担当。1時間60分。			
4) 訓練生: FORM IV 高校卒業程度の内、成績上位の者であり、自然科学(数学、物理)の基礎を十分に備わっている。年令18~22才位。			
5) 利用可能な機材: 各種電子教材、ラジオ、テープ(一象、二象)TV、教材、情報機器、テレビ教材他。一部の実験実習は不自由な部分があるが、設備入手困難な機材は、使用不可な機材もある。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
ザンビアはザンビアの発展の中、中自技術者育成は急務であり、特に教育分野の協力を必要とする。			
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):			
① 大学(電子工学等専攻)以上			
② 業務経験4年以上あること。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

330
電子機器

記入昭和 56年 3月 20日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガambia	(現地公用語) Radio/TV Repair	(男) / 人	訓練開始 56年 10月
	(日本語) 電子機器の修理	(女) 人	派遣予定 57年 2月
		受入期限 57年 4月迄に現地到着のこと	
(1) 配属先			
MINISTRY OF EDUCATION AND CULTURE, DEPT. OF			
1. 配属先名称 (現地公用語): TECHNICAL EDUCATION AND VOCATIONAL TRAINING CT			
(日本語): 文部省技術教育訓練局			
2. 隊員勤務先名称: LIVINGSTONE TRADES TRAINING INST. 所在地: P.O. BOX D. 27, LIVINGSTONE			
3. 事業規模及び内容: 学生の入学資格は高校3年卒業生で当校の学生数267人で17クラス平均16名、			
4. 設備概要: 1955年に開校し、当時は木工工場で、修学費で平均10名前後の学生数確保。1968年			
5. 各コースとも指導に必要の程度の教育設備、装置類は揃っている。			
(2) 隊員の業務内容:			
1. 業務上の隊員の地位: テレビ修理コースの専任教官となる。			
2. 技術の範囲: テレビの理論(電子回路、変圧、伝送、トランス、波長等電子工学一般)ならびに修理に精通しており指導できることが要求されている。			
3. 業務上の形態: 教室型、1日1時間程度の授業を担当。1時間45分。(学科 6時間、実習2時間、教材準備2時間)			
4. 訓練生: セカンドレベル FORM V 卒業生 (高校3年卒業程度、英語、数学、物理、化学は最低限修得者)			
5. 利用できる教材: 実習室、教室に必要最低限の教材は揃っている。			
6. 語学: 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
ガambiaの発展のため、技術者の育成は急務であり、特に教育分野での協力を必要としている。同校では、規律を重視しており、授業、課外活動を通じた規律ある生徒を育成指導しているため、このような隊員の派遣が望まれている。(積極的付)			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
① 高専あるいは短大(電子工学専攻)以上			
② 実務経験 5年以上が望ましい。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 19日

322 電子機器

調査者氏名 後藤俊男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) Electronics	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子機器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Vocational Training Institute

(日本語): 国立職業訓練所

ロ. 隊員勤務先名称: National Vocational Training Institute (日本語名称)

所在地: P.O. Box M 21. Accra 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要: 各コースごとに実習場と教室がある。教材 工具類は不備がある。機材類は使用できないものもある。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の地位: 一般の指導員と同格だが、ガーナの指導員の自由な立場にある。

② 技術の範囲:

③ 業務の形態: 週5日の授業

④ カリキュラムが対象者: 生徒は所属先を一時休職して技術訓練を受ける形となっている。四年制で毎年約90名が入所する。指導員は平均3名ずつ学科実技とわけている。

⑤ 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 工業高校卒業程度
- ② 実務経験3年以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 6 月 7 日

調査者氏名 藤崎泰昌、大嶋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) ELECTRONICO	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電子技術	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 2 人	受入期限 83 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD NACIONAL Autónoma de Honduras.
(日本語): ホンデュラス国立自治大学
- ロ. 隊員勤務先名称: 物理学科 Departamento de Física (日本語名称 ())
所在地: Tegucigalpa (主要都市からの距離 (南北より) 15 キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: ホンデュラス唯一の国立総合大学で学生数約 3 万人、国家予算の 6% を使ったマンモス大学である。物理学科は 400 人、肉体的基礎物理学を学んでいる学生を含めると 4000 人である。
- ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ① 地位: 大学教授もしくは助教 (Asistente)。隊員が到着した時点で隊員の業種に応じて決まる。
- ② 技術の範囲: ● 物理・電気関係実験
- ③ 業務の形態: (1) 実験器具の修理, 等, 及び関連授業
(2) 実験の準備, 計画 等
- ④ 対象者: 隊員の業種に応じて変わることもある
- ⑤ 対象者: 物理学科学生 400 人。ただし実験単位は 20 人、
学年によって差があるが日本の工業高校から高専の範囲である。
- ⑥ カウンターパート: INSTRUCTOR (助教) もしくは教授になる。
- ⑦ 機材: 振動機電圧計、オシロスコープ等 日本の工業高校程度の基本実験をするには十分である。但し、測定器などは一部に欠けているが修理可能。
- ⑧ 第 3 国人、日本人: 無
- ⑨ 言語: スペイン語。教授との会話、できれば英語だけでも可。
将来的に学生に授業することを考えるならばスペイン語が不可欠。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデュラス国立自治大学は国家予算の 6% を使い学生数 3 万人にのぼるマンモス大学である。自国の大学では教授育成ができておらず、その多くがメキシコ、アメリカで学位をとり、教授職についている。そのため極めて教師が不足しており、増大する学生に十分な教育ができていない。そこで今回の要請に呼応した。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 大学
- 電気関係専攻
- 語学能力のある人。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 11日

381 無線通信機

調査者氏名 宮川 文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Aeronautical Telecommunication	(男) 1人	訓練開始 56年 4月
	(日本語) Engineering	(女) 1人	派遣予定 56年 8月
	航空管制機器	(どちらでも可) 1人	受入期限 56年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Civil Aviation, Ministry of Transport and Communications
 (日本語): 運輸通信省 航空局
2. 隊員勤務先名称: Moi International Airport
 所在地: モンバサ国際空港
 日本語名称 (モイ国際空港)
 主要都市からの距離 (モイより 10キロ)
3. 事業規模及び内容: 日本の運輸省航空局と専業内容はほぼ同じである。
 空港の規模は日本の地方空港並みか、それより大きめ程度。

4. 設備概要: 国際空港であり、一応の航空管制機器設備は整備されてはいるが、中にはかなり古く、老朽化しているものもある。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: VOR/DME, ILS, RADAR SYSTEM等航空管制機器の保守業務及びケア人スタッフの訓練にあたり技術スタッフとなる。
- ② 技術の範囲: 航空管制機器に対する幅広い知識を有する。また、デジタル技術の知識も必要。
- ③ 業務の形態: 実際の機器の保守修理、増設及びケア人スタッフへの指導。
- ④ 対象者 カウンターパート: ケニア人保守スタッフの中にはイギリス等海外で技術研修を受けた者がいるが、デジタル制御等と最新技術に対する知識に欠ける。
- ⑤ 利用できる機材: 大体揃っている。
- ⑥ 邦国人専門家等: 特に指導官はいない。
- ⑦ 使用する言語: 英語
- ⑧ その他: 機器メーカー { Wilcox Electric Company (U.S.A.)
 Plessey Radar Ltd. (イギリス)
 東芝 (一部)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: モンバサ・モイ空港では、近々 VOR/DME 装置の老朽化に伴って取替新設工事が計画されており、他にも漸次老朽化したものが新しく設置し直す計であり新しい技術を持つスタッフの不足がある。また、最近モイ空港に設置された ILS はデジタル式 (東芝製) であり、デジタル技術に精通したスタッフが少ないため、保守要員育成が急務である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

航空保安大学校等専門学校卒業後、空港の保守部門にて2~3年の実務経験がある者か望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 8 月 30 日

調査者氏名 藤 尾 洋

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Audio Visual	新規	(男) 1 人	58年 8月	
	(日本語) 視聴覚機器	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment (日本語): 青年雇用局					
② 隊員勤務先名称: National Youth Services Council 日本語名称(国家青年サービス評議会) 所在地: コロンボ (NYSC) 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 完全な学校教育を受けた11歳青年に対し、実務的な訓練を行う。生計の道と 立てさせることを目的に各種訓練を実施している。訓練内容は、農業木工、 電気、洗滌、手芸等多岐にわたる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 青年雇用局の中にスタジオルームがあり、ビデオ編集等の作業を 行う。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ビデオユニット(U-MATIC)のフィルム編集教師。					
② 技術の範囲: ビデオユニットによる各種の取扱い及び編集。					
③ 業務の形態: 各種訓練に使用される取扱い及び青年雇用局全体の広報用として、取扱い及び フィルムの編集を行うと共に、青年雇用局の他の部門(National Apprenticeship Board) が行っている10年間の学校教育終了者対象の訓練を受入れ、取扱い、編集等に ついての on the job training を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 指導対象者は、10年間の学校教育終了者で専門 的知識はない。					
⑤ 現地で利用できる機材: ビデオユニット一式(U-MATIC)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 不在。					
⑦ 使用する言語: シンハラ語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 各種訓練を円滑に行うため、視聴覚機器、とりわけビデオ ユニットを使用している訓練及び青年雇用局全体の活動の広報用として今後立 てたい意向であり、この分野における専門技術を有する人材がいらないため 要請されたためである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 職業訓練所卒以上、実務経験2年以上が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 1月 18日

333 視聴覚機器

調査者氏名 藤 彦 洋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 57年 4月
	AUDIO-VISUAL	(女) 人	派遣予定 57年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	視聴覚機器		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): LANKA JATIKA SARVODAYA SHRAMADANA SANGAMAYA

(日本語): サルボヂヤ

ロ. 隊員勤務先名称: } 配属先名称に同じ. 日本語名称 ()

所在地: } ムラトワ 主要都市からの距離 (00:本より約20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サルボヂヤは1958年に活動を開始した民間のボランティア団体であり、地方一般民衆の生活をいかにして向上せよと目的のもとに各種の教育、生活活動を展開しており、現在の約5000人のスタッフに約2000の村で活動している。年間予算約300トドル(1981年)

ニ. 設備概要: 1982年3月にコネスコからビデオ=コンパクト U-MATIC 一式が寄贈されることになっている。その他音響機器多数あり。各地巡回のための専用車あり。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 特定おこなう困難であるが、強いて記せば、U-MATICの取扱責任者。

② 技術の範囲: U-MATICによる取扱、編集、放映等全ての業務及び音響機器の保守管理。特に受入機内では編集作業に最も大きな期待をよせている。その他各種音響機器も所有するので、それについての基礎知識があれば好都合。

③ 業務の形態: ④ 上記②の業務を実施しつつ現地人スタッフの養成を行う。

⑤ サルボヂヤの活動はスリランカ全土に展開されているが、それ以外の村にあって活動内容を発展過程が異なるので各地を巡回して取扱、編集後、各地で広報活動を行う。

⑥ カウンターパート: カウンターパートは隊員赴任時に決定されることになっている。現在サルボヂヤでは、テコ・コ・グー等の機械を所有しており、それらの運転者の中から指名されると思われる。

⑦ 機械等: V= U-MATIC 一式

⑧ 才=国人等: 本分野についてはなし。但し、農業、地域開発等で、UNV約15名(1981年8月)が他北欧諸国からのボランティアも活動中。更に日本VILバーボランティアからのボランティアが短期間滞在(通常3ヶ月程度)することあり。

⑨ 使用言語: シンハラ語 及び 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1982年3月にコネスコからビデオ=コンパクト一式が寄贈されることになっているが、それを知った教師は不在で、これらの機械を有効に利用し、サルボヂヤの広報活動を円滑に行なうために大きな期待が寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴不同、経験1年程度欲しいと、実際に業務遂行可能であればよい。

① 隊員の資質について特に重要視したい。サルボヂヤの基本的活動理念はいかに自分の欲求をおき、他人の役に立つことかという点に置かれており、困難な条件の中でも自分の欲求をおき、活動する強い精神力が要求される。例、サルボヂヤの施設の中での飲酒は不可能。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 11日

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 2人	訓練開始 57年 4月 6日
	(日本語)	(女) 1人	派遣予定 57年 7月 10日
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Communications

1. 配属先名称 (現地公用語): Nepal Telecommunications Corporation
 (日本語): ネパール電気通信公社

2. 隊員勤務先名称: Engineering Department Planning & Development Section
 所在地: Singhdurban, Kathmandu
 日本語名称 ():
 主要都市からの距離 (より キロ):

3. 事業規模及び内容: NTC 職員数 1600名 (内 gazetted 808)
 1979年~1984年の予算は 462.7 百万ルピー (内訳: World Bank 255 百万ルピー, UNDP 29.7 百万ルピー, 費用 65 百万ルピー)
 NTC 118 百万ルピー / 118 - 20 百万ルピー

4. 設備概要: 電話局数 16, 終端子数 11,970

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: Engineer 722

② 技術の範囲: Telephone outside Plant Engineering (特に Underground Cable & Overhead line or Aerial Cable) 今後の需要は市内局に伴う工事が増える。
 (スリット, マンドラケーブル, バネコ用局, カブス 5000 T 用局 (地下ケーブル) 100V/1000T 増設 (地下ケーブル))

③ 業務の形態: 工事計画のある局 (新設局も含む) に出向き 現地の Supervisor 等と相談しながら 設計を行い更に工事の監督・技術指導を行なう

④ 力のポイント: Assistant Engineer 又は Supervisor 722 の者が共に仕事をすることが特定のポイント として必要の場合がある。他に留学した Engineers は基礎学力がある。

⑤ 利用する機材: 工事で相手側 (NTC) で日本 スカベン (スカベン) 等から機械・工具類を購入 (1ヶ所) 今後必要な機材は NTC 側で購入する予定。前任隊員の 持参した工具・測定器などもある。必要ならば 1ヶ月分と思われる。

⑥ 才3個人: Patan Technical Institute の専門家 (総括係2人, 線路スカベン) 線路がうろたふ 3 個人各1名いる。

⑦ 使用する言語: ネパール語 (技術用語は英語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

5カ年計画 (79-84) に基づき 電話局の新設・増設が予定されており 地下線路設備は日本製のものが 入荷済(前)。NTC 側で線路分野を系統的に 計画・設計・施工を行なえる技術者もほかにいないため 計画から施工までの幅広い知識・技能を有する隊員の受入を望んでいる。
 このための前任隊員を通じて この業務に対する JOCV への評価はよい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

今後数年間は設計より施工・保守が中心になり 特に地下線路の施工経験者 (架空線必要はあつか) を求める。

・電気公社の大学部又は専内部卒 あるいは大学又は高専卒。
 (井原・東隊員受替)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年 2月15日

341 電話線路

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
K=J	(現地公用語) Under Grand cable construction	(男) 3人	訓練開始 年 月
	(日本語) 電話線路	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

配属先

配属先名称 (現地公用語): Kenya Post & Telecommunications

(日本語): K=J 郵政公社

隊員勤務先名称: K.P.&T.C. D.T.M.

日本語名称 ()

所在地: Nairobi or Mombasa

主要都市からの距離 (より キロ)

事業規模及び内容: K.P.&T. にてあつて日本の組織を引用した郵政公社、国際電線を加之した業務を一手に扱う公社を隊員は電話部門に配属する

設備概要:

隊員の業務内容:

1. 地位: Assistant Engineer

2. 技術範囲: 路線図の読み、路線の接続及び工事

3. 業務の型態: 現場仕事を1名が技術指導

4. カンパニー: Assistant Engineer - 2名の group を1つに

5. 利用主要機械: 仕事に必要と機械は有

6. 外人専門家等: K.P.&T. にて数多くの外国人専門家が

技術専門家が働いてゐる (日本人5名)

7. 使用主要言語: 英語

受入希望の背景と受入後の期待:

隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

経験2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 25日

調査者氏名 林 和昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア 共和国	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Telephone Cable Technician	(女) 人	派遣予定 1981年 8月
	(日本語) 電話ケーブル保守	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Liberia Telecommunications Corporation
(日本語): リベリア通信公社

ロ. 隊員勤務先名称: Outside Cable Department 日本語名称 (電話線路部)
所在地: Lynch Street, Monrovia 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 電話回線約4,000本, シラレオネ, キニア及びアボリコストに接続するマイクロウェーブの回線網ができており, その幹線沿いの電話加入者は国内と2000マイル即時通話が可能. 電話線路は地下ケーブルと地上の架線とがミックスしている.

ニ. 設備概要: 地下ケーブル及び地上架線

(2) 隊員の業務内容:

- ① Supervisor
- ② 上記設備概要で述べたケーブル及び架線の交換, 保守及び修理ができること.
- ③ LTCのテクニシャンに対して教室で理論を教え, 現場の設備を實際に交換, 保守及び修理しながら指導する.
- ④ 工業高等学校卒業程度とされているものの, 日本の中学校卒業程度の知識しかない.
- ⑤ 保守に必要な測定装置は一応あるが, 取扱いが適切でないため, 故障中のものが相当ある. 工具も乏しい.
- ⑥ JICA派遣員内定3名, スエーデン人乗内定5名
- ⑦ 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1978年に日本の円借款(約18億円)により富士通のマイクロウェーブ回線網が完成したが, 日本人技術者が帰国した後リベリア人技術者を付けては保守(すれず, ほとんどの中継局で障害が発生している. ス. 電話回線約4,000本のうち, 約50%は常時故障中で, LTCの全力があけて回線機能の維持に努めているが, 一度障害が発生すればおそれる回復しない.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 工業高等学校卒業以上
実務経験3年以上が望ましい.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入期日 56年 9 月 日

350 テレックス

調査者氏名 新田 麻子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) TELEX	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) テレックス	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Transport & Communications
 (日本語): 運輸通信省 Post & Telecommunication Department
- ロ. 隊員勤務先名称: Telegraphs Workshop 日本語名称 ()
 所在地: ブランザイト 主要都市からの距離 () キロ
- ハ. 事業規模及び内容:

マラウイの電信(電報・テレックス)部門の維持。

- ニ. 設備概要: TELEX用クロスバー交換機(最大容量520), VFT(搬送電信装置) 全機組数24CH, TELEX(2機種 GNT, ITT) 約400台

(2) 隊員の業務内容:

- ロ. 業務上の地位: Technical Officer
- ハ. 技術の範囲: ① テレックス用交換機(エレクトロクロスバーシステム)の保守
 ② VFTの保守
 ③ テレックスの保守
 上記①~③のすべてで対応が望まれる。③は必須。①②はどちらか一方の技術があれば良い。

- ・ プロファイル: 高卒。20~26才。Post officeに入社後約1年の訓練コースを経て配属先の電気に関する基本的な事は習得している。

- ・ 母国語: マラ

- ・ 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 森保平隊長の交代。

同僚の現業務は上記③の外であるが配属先では①②の業務も新たに期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 7 月 22 日

調査者氏名

中野 勝子

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
T-1	(現地公用語) Telex	新規	(男) 1 人	58年1月	
	(日本語) テレックス	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Post and Telecommunication Corporation
(日本語): 郵電公社
- ② 隊員勤務先名称: P&T External Service 日本語名称(P&T 国際部)
所在地: アラウ市の中心部 主要都市()から キロ
- ③ 事業規模及び内容: TLX加入者約300回線はLondon USA FFM(ワシントン) Rome, Paris 他に13回線 電報回線は8回線又専用線はほとんどLondon向で19回線と規模は小さい。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): T-1が製の24CH式のVFT(電信搬送装置), Frederick社製 TLX電子交換機 ELTEX, 電報交換機 CABEX(Cable & Wireless 社製)等

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Engineer
- ② 技術の範囲: } 16年前に設置した HASLER製の TLX 交換機と2年設置した VFTの保守指導員現隊員(初任者)が行っている。現地の
- ③ 業務の形態: } と3.上述の ELTEX, CABEXはすでに設置は完了しているものの、最終試験 line up 諸々の試験を完了した業者が、支店(2/31)のクォーターのための帰国に、まだ準備状態となっている。今年中には何かの線が伸びるものと思われる。新隊員はこの新しい ELTEX, CABEXの保守を担当することとなる

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: Secondary School 卒程度. P&Tの Telecommunication School (2年制)を卒業した人で、専門知識はある程度わかるか
- ⑤ 現地で利用できる機材: Practicalではない。
(国) 液状クリヤー, フロックス, 729-etc

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

T-1に比べ、電子交換機は初めて導入するものであり、これに関わる知識を有する人は皆無に等しいため、新機材の保守の保守指導員を期待している。又、P&Tは、日本人隊員の仕事へのとくめ評価を高く評価しており、こういった working Attitude を現場へ浸透させたこと

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

- ① Telex 電子交換機の保守経験者。2. VFT 電子型テレタイプ(SIEMENS T1000)の保守経験

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 9月 4日

360 建設機械

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Heavy Equipment Operation	(男) 1 人	訓練開始 57年 4月
	(日本語) 建設機械(操作)	(女) 人	派遣予定 57年 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Construction Manpower Development Foundation

(日本語): 建設人材開発協会 Foundation (本部はマニラ)

2. 隊員勤務先名称: Construction Manpower Development Foundation (日本語名称)

所在地: 未確定 地方都市のうちどこか1か所 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 同 Foundation は工業省下の建設工業特需の下部組織としてつくられたばかりである。同 Foundation は建設(プロジェクト)関係の熟練労働者育成のため、約 25万人を全国各地で5ヶ年計画で訓練する。

4. 設備概要: 実際の訓練は全国各地の既存の設備施設を用いて実施する。しかし必要工具・材料等は C.M.D.E. が提供する。

(2) 隊員の業務内容: C.M.D.E. は建設関連のみに特化して訓練を行う。訓練

は9部門ある。このうち建設機械操縦が中心。C.M.D.E. の本部はマニラにあるが、隊員が実際に仕事をするのは地方である。現地の様子などについて、現場は明確にはなっていない。しかし既存の設備施設を利用するので、MTC (青少年職業訓練) のような全国に事務所・訓練所を持つ構図でのダイアグラムが考えられている。

隊員のカウンターパートは同職種者の職業訓練教官である。通常の隊員の業務は同職種者の ① Training module の作成 ② 機器類の操作デモンストラーション ③ 訓練教官の補佐として働く ④ 訓練生(21才〜45才まで)を直接指導する ⑤ 訓練教官に代わり、場合によっては訓練終了後の評価を行うことである。

11回の訓練期間中は4ヶ月で1982年4〜5月からスタートの予定である。訓練生の数は実際に用意された場所によって異なるが数十から数百になる。

技術: 次に記すような建設機械の効率的な使用法および安全操作について指導する。建設関係機械 → フリッター、ショベル、クレーン、(クレーン22-モーター、セメントミキサー、エアコンプレッサー、タンクカー等 (できるだけ多くの種類の機械を知ったことのある人が望ましいがすべてでなくてもよい))

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィリピンにおいても工業分野での熟練労働者の育成は急務の事柄である。当国ではこれを達成するため各種職業訓練の充実を力を入れていく。このような各種職業訓練の一つとして、特に建設関係(しかも青少年は必ずしも専業主業を含まない成人の職業訓練を行おうとしているもので期待は大きい) (5分以内に訓練生には賞状補給が支給される)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は同レベルだが、(実務経験)を有するにこだわりたい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

建設機械

記入昭和 55年 4月 22日

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 --- 年 月
	(日本語)	(女) / 人	派遣予定 --- 年 月
	建設機械	(どちらでも可) 人	受入期間 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education

(日本語): 高等教育省

2. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology
日本語名称 (注: ケニアの農工大学)
所在地: 主要都市からの距離 (首都より 35キロ)

3. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力 (約 48 億円) 及び技術協力により建設される四年制大学 農学部 3 学科 (園芸・農業工学・食品加工)、工学部 3 学科 (機械工学・土木建築・電気) 学生数 720 名、教職員 120 名
 4. 設備概要: 建物、内部設備、教材、機械共規模を同じく我が国の大学と同じ水準のものを定備している。

(2) 隊員の業務内容:

① 大学教員 工学部機械工学科

② Construction Machinery & Heavy Earth Moving

Equipment に関する全般的理論と修理技術について

③ ケニア人・日本人専門家に全く同様に大学の一教員として専門科目を担当

④ 学生は K.C.E 以上 (11 年以上), 年齢 18 年以上 (Kenya certificate of Education 小学校 7 年 中学校 4 年卒業)

⑤ 本邦より贈送した機械 (約 11 億円) を使用出来る

⑥ ケニア人教職員 80 名, 日本人専門家 22 名

⑦ 英語 (講義と全て英語で行うので英語に堪能である事が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は 4 次経済開発 5 年計画で国内に必要の中堅技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処する為の職業技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。本学は先頭にあつた。今後このケニアの技術者養成及び社会への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 短期大学 (機械工学科) 卒業以上 (旧専門学校を含む)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 20 日

調査者氏名 江畑義徳 (江畑)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
アンザニア	(現地公用語) MECHANICAL ENGINEER (日本語) 建設機械	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	58年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LAND CONSTRUCTION AND HOUSING ZANEBAR (日本語): ザンジニ建設省					
② 隊員勤務先名称: DEPARTMENT OF CONSTRUCTION & MAINTENANCE 日本語名称 (建築・保安局) 所在地: ザンジニ市 主要都市 () から キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本の山村残壊地の規模であるが、設計・建設・土地・保安・管理等の各部署に約 200 人の職員がおり、同省はザンジニ、ペンバ島を含む公共建築物の設計・保安・管理を行なっている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 本署は、保安局は労働課と機械課に分かれ、機械課には専用ワフショップ (17所) があり、建築現場の SA の修理依頼による建設機械全般を保安・管理している。スタッフ約 100 名					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ワフショップと分り不定					
② 技術の範囲: ① 建設省所有の建設機械の保安・管理 取扱・修理は主に (1) プルト・サー (トキカブ) ジンババ (1) プルト・サー (トキカブ) (2) エンクリン (トキカブ) (3) タンク・ブロー (トキカブ) 等である。					
③ 業務の形態: ② 必要に応じて大型車両 (トラック) も保安する必要があるが、車両整備についてはある程度の知識が必要。(ザンジニ運輸省に専用カーがある) ③ ワフショップの管理・運営の専門知識をもち、スタッフのなごみ、その改善指導を通じて実施する ワフショップ内での業務の中心となるが、レポート、レポート類の作成等も担当し、本省にたいしての出向する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ワフショップの従業員全員、トレーニングは必要と見られる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 簡易な工具類、ガス類は応用している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ワフショップを維持・管理するスタッフの不足のため、実際の現場作業を通じて、インフラを育成するにも、管理のノウハウを伝える者を待っている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 専門学科大卒以上 ○ 自動車整備に6年以上精通していること(望ましい)					
○ 現場経験3~4年以上 ○ 油圧経験者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

360 建設機械

記入昭和 56 年 9 月 日

調査者氏名 新田 泰子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	PLANT MECHANIC	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 8 月迄に現地到着のこと
建設機械			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *The Office of President & Cabinet*
 (日本語): 大統領府

ロ. 隊員勤務先名称: *Irrigation Branch* 日本語名称 (*灌漑局*)
 所在地: *リベジェ* 主要都市からの距離 (*より* キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *従業員はメカニックその他合わせて約30名、車両台数は本部で4台、約20台。各拠点を含めると100台。(トラック、オートバイ、建設機械)*

ニ. 設備概要: *工場は車両4台に入る大さ、カレシマキ中型1台、スタッドリル中型1台、グラインダー1台、溶接機(電気ガス)各1台、部在庫手持具等。*

(2) 隊員の業務内容:

工場を監督として修理から車両の管理、スタッフの管理、時には地方の現場への出張もある。

・業務上の地位: *Mechanical Supervisor*

・キャリア・パート: *ほとんどが小学程度、Foremanが高卒で一般修理は10人程度で済む。*

・利用可能な機械: *ほとんどを完備している。*

・本国の人: *他にJOCV隊員(自動車整備)1名。*

・言語: *英語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *印南一雄隊員の交代*

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

ディーゼル(ガソリン)の調整術士

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

360
建設機械

記入昭和 56 年 4 月 日

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Plant Mechanic	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 建設機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期間 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies
(日本語): 工業補給省
- ロ. 隊員勤務先名称: P. V. H. O. 日本語名称 (重機車輛貸貸局)
所在地: 未定 (現階はリフレンジ勤務し不在) 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 転勤予定)

ニ. 設備概要: 一般車輛 50台 建設機械 50台。工場備品・工具は不従。交換部品の入手困難。コンプレッサ、溶接機、ガス切断機、ポンプ、サービス・サービス

(2) 隊員の業務内容:

- 業務上の地位: Mechanical Supervisor
- 業務の範囲: 一般車輛、建設機械の故障修理、メンテナンスサービス、指示管理
- 業務の形態: フォールトでは故障修理、サービスで行う。ワークショップでは車検、中程度の修理の監督を行おう。部品・理の手配。問題処理。
- キャリアポート: 中卒。30~40歳。基礎知識は不従にあり。不従意に不従多。
- 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

福田 建隊員の交替。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

③ = 2級整備士 (P-V-H-O)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 20 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サモア	(現地公用語) Construction Machinery	新規	(男) / 人	58年 10月	
	(日本語) 建設機械	変更	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Public Works Department					
(日本語): 公共事業者					
② 隊員勤務先名称: ヴァイテル自動車整備工場 日本語名称()					
所在地: アロア 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 従業員約200名の自動車整備工場					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): エンジン、伝金、電装各部門とも相当整備されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 建設機械整備士					
② 技術の範囲: 建設機械整備全般					
③ 業務の形態: 現場型勤務で自ら整備に従事するとともに西サモア人整備士の技術指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは相当多数であり学歴は中等程度 年齢は20代に多い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要の機材は現存している。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 工場にはオーストラリア人技師をほか協力隊員3人が配属されている。					
⑦ 使用する言語: 英語及びサモア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
協力隊員の指導で西サモア人整備士の技術の向上が要請の理由である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
二級ガソリン・ディーゼル整備士					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 10月 10日

調査者氏名 青木修治・遠藤賢司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
11070P ニニキニア	(現地公用語) Construction Machinery (日本語) 建設機械	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 51年 1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Works and Supply
(日本語): 公共事業者
- ロ. 隊員勤務先名称: Madang Civil Engineering Training Center
日本語名称 (マダン土木訓練センター)
所在地: Madang 市内
主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 公共事業者職員に対する建設機械、土木施工の技術訓練センター。

ニ. 設備概要: 座学用視聴覚機、建設機械(グレーダー、ブルドーザー、ダンプトラック、ホイールローダー)等がある。

(2) 隊員の業務内容: マダン土木訓練センターが定期的に開設する職員技術訓練コースを担当、建設機械オペレーターの養成にあたる。

- 1. 業務上の地位: 指導員 (インストラクター)
- 2. 技術の範囲: 2級建設施工技工程度の技術が要求される。現地人インストラクターとの作業分担は可能だが、少くとも之様種の運転に精通していただく必要がある。
- 3. 業務の形態: 実習を主体とした訓練コース。座学も含まれる。
- 4. 対象者の年齢から: 受講者の年齢は20歳以上。現地人インストラクターは2-10-1の技術基礎知識レベルは高いが運転技術は良好。
- 5. 利用する機械: 座学用視聴覚機 (16mm プロジェクター、スライドプロジェクター、オーバーヘッドプロジェクター)、建設機械各種。
- 6. 現場のスタッフ: 所長 = ニニキニア人、マネージャー = カタラン
- 7. 使用する言語: 英語 および コジニ・イングリッシュ

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 青木修治隊員 (55/4次) の交替要請。建設機械の指導員が不足しており、他国ボランティアから人材が得られず PNG 政府側からの期待は大きい。緊急度大。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 2級建設機械施工技工程度の知識・技術・および。少くとも之様種の運転可能とある必要がある。
 - 2. 英語と理論指導 (座学: 参考資料作成等) ができる必要がある。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 9月 5日

調査者氏名 岩本文男 遠藤 野司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
パプア・ニューギニア	(現地公用語) Construction Machinery (日本語) 建設機械(整備)	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 58年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- 1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Works and Supply
(日本語): 公共事業者
- 2. 隊員勤務先名称: Newtown Training Center 日本語名称 (ニュータウン) 訓練センター
所在地: Port Moresby 市内 主要都市からの距離 (より キロ)
- 3. 事業規模及び内容: 公共事業者中堅技術者養成事業の、軽・重車輻射部門 (一般自動車、建設機械) の訓練センター。整備
- 4. 設備概要: 輻射整備に当たり施設はかなりのレベルに整備されている。建設部門については JICA 専門家 (58年4月帰国) の派遣による整備に任せている。

(2) 隊員の業務内容: 同センターの建設機械整備部門の指導員 (インストラクター) として、作動理論及び整備実践の指導を行う。

- ・業務上の地位: インストラクター
- ・技術の範囲: 2.5リットルエンジン整備士程度の実力が要求される。又、理論指導 (講義) を行う英語力も必要になる。
- ・業務の形態: 建設機械整備訓練コースの担当。月時～金曜日まで (9:45 AM ~ 4:06 PM)。午前は昼食、午後は学習というパターン。
- ・利用する機材: 実習用建設機械 = プルドーサー、モーターグレーダー、ローダー、ダンプトラック、コンパクター、エアコンプレッサーなど。工具類は精、2人。スライド・プロジェクト (視察専用)
- ・職場の状況: 教員はオーストラリア人、インストラクターはイギリス人、オーストラリア人ボランティア。
- ・派遣国の状況: 西ドイツボランティア
- ・使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
建設機械部門のインストラクター不足しており、緊急度の高い要請である。DWS (公共事業者) 本部では、現地人技術者 (インストラクター) 養成に力を入れ、かなりの進捗を期待している。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 2.5リットルエンジン整備士程度の実力があること。
 - ② 英語と理論指導の能力を要する。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 / 日

調査者氏名 筒井 昇

浄水場機械

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
リベリア	(現地公用語) Water Treatment Technician (日本語) 上水道処理装置操作	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Liberia Water & Sewer Corporation (日本語): リベリア上下水道公社					
② 隊員勤務先名称: _____ 日本語名称 () 所在地: ホワイトフロー浄水場 主要都市 (モンロビア) から _____ キロ					
③ 事業規模及び内容: 同公社はリベリア国内の給水、下水を担当する機関で モンロビア市内には浄水場、下水処理場等の施設と					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 持つ。 アメリカ製の上下水道処理機器					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 衛生技師 (Sanitary Engineer)					
② 技術の範囲: 上下水道処理機器の操作、保守、及び修理					
③ 業務の形態: ホワイトフロー浄水場の上下水道処理機器の操作およびポンプ 電気機器等関連機器の保守、管理にあたる。また、上下道 処理機器操作員の訓練計画の作成、スロア・パーツの 選定等に当たる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特になし。					
⑤ 現地で利用できる機材: リベリア上下水道公社の業務形態などに設備については、 「海外協力の現場から・リベリア編」に詳しく報告されている ので参考にしたい。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: モンロビア市内の上水道施設・サービスは不十分で、乾期にはよく断水する。 また雨期に入ると水が濁ったりして生水は飲めない状態である。改善 すべき点は多いので、隊員の活躍が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大卒、実務経験3〜4年を有することか 望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 / 日

調査者氏名 筒井 昇

下水処理場機械

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
リベリア	(現地公用語) Sewage Treatment Technician (日本語) 下水処理機器操作	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Liberia Water & Sewer Corporation					
(日本語): リベリア上下水道公社					
② 隊員勤務先名称: 日本語名称(モンロビア)					
所在地: モンロビア下水処理場 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 同公社はリベリア国内の給水、下水を担当する機関でモンロビア市内には浄水場、下水処理場等の施設を有す。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): アメリカ製下水処理機器					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 衛生技師 (Sanitary Engineer)					
② 技術の範囲: 下水処理部門の技術顧問あるいは専門家として業務にあたる。					
③ 業務の形態: モンロビア下水処理場ならびにポンプ場等の関連機器の保守、操作、管理にあたり、各施設の改善につとめる。また下水処理機器操作員の訓練計画作成にも携わる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特になし					
⑤ 現地で利用できる機材: リベリア上下水道公社の業務形態ならびに下水処理関係の施設概要については「海外協力の現場から・リベリア編」に詳しく報告されている。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 首都モンロビアでは人口集中化が進み、各地域に人口密集地ができ、衛生面で大きな問題となっている。こうした問題を解決するため、水道公社では外国の技術援助資金で下水道網の整備、下水処理施設の増設は行っているが、下水道の維持管理、下水処理機器、ポンプ等の保守が悪く、かなりの部分の機能がまひしている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒、実務経験 3~4年を有することが望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年10月30日

366 織 機

調査者氏名 中野 勝彦

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ国	(現地公用語) TEXTILE	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 織物機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 文部省 技術職業教育局 課長 MR SAN AGGREY
 1. 配属先名称 (現地公用語): TEMA TECHNICAL INSTITUTE (SCHOOL)
 (日本語): TEMA 技術学校 校長 MR PHILIP QUACO (1980.9月着任)
 2. 隊員勤務先名称: / 日本語名称 ()
 所在地: テマ市 主要都市からの距離 (Tema 州 4キロ)
 3. 事業規模及び内容: 1967年に創立、教師25名、生徒数、28名 (3部内)
 ① 織物コース (3年制) 25名 (2732) ~ 教師10名 長 MRS RECLIXIA (時2622) あり
 ② 縫製 " " () 25名 (2732) ~ " 3名 + JOCV (1980.11.1着任)
 ③ 洋裁 " " () 28名 (2732) ~ " 6名
 4. 設備概要: 生徒の年令 18~25歳、日本からの援助によりスズキ織物機が15台あり、故障 (部品不足) のため動いていない。他に原料がないことである。

(2) 隊員の業務内容:
 ① 隊員の業務上の地位
 学校の中の一人の教師、校長及び部長の指示を受ける。
 ② 技術範囲
 基礎から指導する (理論と技術が要求される) コースが3年間であり、高学年は高度の技術が要求される。
 ③ 対象者及カウンターパートの技術水準、年令
 生徒 25名、平均年令 19歳
 カウンターパート 校長及び同僚教師、MR RECLIXIA 40歳ほど、日本に来て教則研修を受けている、日本語と話せる。
 ④ 現地で利用される機械
 織機は日本製スズキ、ほとんど部品がないように見受けられたので、修理が必要 (修理にはリストアップに要請可能)
 ⑤ 使用する語体
 英語で授業する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
 約10年前に日本からの援助で織物プロジェクトがスタートし、日本からの専門家数名が派遣され、現地人に引継ぎされた。しかし、その後、故障や原料の調達等がうまくいかず、徐々に縮小してきた。3年前位から要請があったようであるが、応募者がなく、現在に至る。西側先進国の期待度は大である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): (希望あり)
 人格が良ければ良い。実経験は2年以上 (おとなしいタイプ) 明るい方が良い。

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 57 年 9 月 4 日

調査者氏名

中垣長明



368 砕石機械

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Rock Mechanics (日本語) 鉱業(岩石採掘)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	58 年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): The University of Zambia (日本語): ザンビア大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(): 所在地: LUSAKA 主要都市(市内)から 8 キロ					
③ 事業規模及び内容: ザンビア大学は1966年設立、同国唯一の総合大学(国立)、8学部よりなり。(社会科学、自然科学、教育学、法学、工学、鉱山工学、農業、医学) 学生数は約4,000人、3つのキャンパスがあるが、隊員はその内中央のLusakaキャンパスに勤務					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 鉱山工学部は、鉱山工学、冶金、地質の3学科よりなり、鉱山工学と冶金学科は併設の大学院を設置する。鉱山工学科には、鉱山環境と岩石採掘に関する2つの実験室がある。また、鉱山モデル室もある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Teaching Assistant (講師あるいは講師補佐に相当)					
② 技術の範囲: 鉱山工学の分野特に岩石採掘(uniaxial testing machine, Shear testing machine, Photoelastic bench, Hardness tester, 等)に関する知識・技術。 (compression)					
③ 業務の形態: 隊員は鉱山工学部、鉱山工学科に所属し academic staff、テクニカルと協力しながら、同学科の授業を担当、フィールド実習等も指導する。また、必要に応じて調査研究にも参加して作業する。 (岩石採掘に関する2つの)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学卒					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要な材料はほとんどそろっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 外国人教授(UNESCO派遣)1人、助教授1人、講師1人。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 教授スタッフの絶対数不足に悩んでいる。これは、各学部、学科の科目数拡大と、教授内容の充実を進めている同大学にとって重要な課題の一つであり、教授(professor, assistant professor)を必要とする多くの外国人(主に)クラスは個人で人材を得ているが、講師(特に実習指導等)を必要とする講師(あるいは助手の補佐)クラスの人材が不足しており、JOCVに協力をお願いしている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒 あるいは 同等の Diploma の資格					
* 事務局記入					

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年1月6日

調査者氏名 山本嘉秀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) مهينس ميكانيك بيري	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 船舶機関	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): المؤسسة العامة للأعمال فرع البيري
 (日本語): 農業農地改革省 水産公用 ラタキア支所
 ロ. 隊員勤務先名称: 水産公団 ラタキア支所 (日本語名称)
 所在地: ラタキア市内 主要都市からの距離 (ラタキア市内)
 ハ. 事業規模及び内容: 水産公団唯一の海面漁業支所にて
 80トン漁船三隻が配属され運用されている

ニ. 設備概要: 80トン漁船(360HP)3隻 20中 小型船6隻

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位
 支所に配属され必要とされる際は乗船する。
 陸上では支所スタッフ 海上では機関長待遇となる。
 一般には専門家業務と考えればよい。

技術の範囲
 日本における同規模船 100~250トン級の漁船の機関長。
 同様にしくは準ずる技術が要求される。具体的には
 主機、発電機、ポンプ類、冷凍機、舵機、油圧等。
 パワーブローワの修理保守、ガス切断、電気溶接技術等。
 航海計器等の弱電機器及び設置されている
 中、強電機器の故障修理技術。

カウンターパート 現状ではなし。
 他国専門家 いない
 使用する言語 乗船時 アラビア語 シリア方言のみ
 支所においては英語使用も可である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

シリア国においても、又当水産公団においても
 船舶機関技術に関し、豊富に経験技術を有する
 者がいるため 当隊員の派遣は希望されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産高校 機関科 専攻科卒の場合乗船履歴5年以上
 南船大学 南船高専・水産大学校 機関科卒の場合乗船履歴2年程度。
 海技免状 乙種機関長・甲種二等機関士以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57年 8月 24日

調査者氏名 原子 司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) MARINE ENGINEER	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 船舶機関	(女) 人	派遣予定 58年 10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Economic Development
(日本語): 経済開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称 (水産局)
所在地: Apia 主要都市からの距離 (より0キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

「タウタイサモア」 カツオ一本釣漁船 1隻 (20ト)
主機 輔機 共にヤンマーで200PS. 35PS. 乗員 約10名. 現地エンジニア2名
ニ. 設備概要: 船外機修理工場 があり. 工具類は. ほぼそろっている
その他. タウタイサモアのエンジニア専用の事務室と. スタールームがある

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 「タウタイサモア」 チーフエンジニア
2. 技術の範囲: 1. 機関室全体の保守及び整備.
2. 船外機修理工場のアドバイザー
3. カウンターパートの育成. 指導.
3. 業務の形態: 現場型.
4. 対象者及びカウンターパートの技術水準
エンジニアとして2人程度 その他. 船外機の
メカニックを入れ? 3~4人 (20~25才)
職業訓練校出身の2人は. 論理的に仕事を進めるか
その他の人は. 教えられてきたことを単にするのみ.
5. 現地で利用できる機材. 船外機修理工場内の道具機械類
(ボール盤, フライス盤, 旋盤)
6. 職場における邦3国人及び日本専門家: 船舶機関で専門家1人
及び. ビスブアの男女. 各1名ずつ
7. 使用言語: 英語. サモア語. 日本語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

MARINE ENGINEERとして現地人が責任を持って. 保守
整備が進められる様に. その前提として隊員の
活動が望まれる

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

船舶エンジニアとしての専門課程を履習し. 教員の
乗船経験者が望ましい. かつ絶対ではない.

条件

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 11月 日

330 自動車整備

調査者氏名 堀内 三美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Automobile Maintenance	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 自動車整備	(女) 人	派遣予定 57年 7月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Rubber Industry Smallholders Development Authority (RISDA)
(日本語): 小規模ゴム農家開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: Riada Training Institute 日本語名称 (Riada 訓練所)
所在地: Padang Rengas, Perak 主要都市からの距離 Kuala Lumpur より 6キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1952年に小規模ゴム農家の保護及び経営改善のための設立。
ゴム移植指導が中心であり、他にも野菜栽培の指導、農家子弟の教育、職業訓練を通じて農家の生活改善、経済的向上を図る。今下農家の50世帯、2000人

ニ. 設備概要: 32-acreの敷地に事務所1、倉庫(10及び20坪)1、教室2、食堂1、バス1
バス、トイレ、野菜の圃場がある。教師は現在15人である。自動車整備の21材料6月開始

(2) 隊員の業務内容: 予定のため、教師も設備も付かない。

- ① 業務上の地位 - 自動車整備の Instructor
- ② 技術の範囲 - 大型車輛及普通乗用車の修理、整備
- ③ 業務形態 - 理論及びワークショップでの実習指導
2-21年を予定している。
- ④ カウンタ-パート } 1982年6月に本工舎開始のため、同年11月:
⑤ 現地を利用する機械 } workshopの建設着手 4月中旬に完成予定。
ある。基本的な機械は Riada 側から準備する
必要はない。カウンタ-パートは指定7:30人
物は現在いらない。配属する予定はない。
- ⑥ 対象者 - 小規模ゴム農家の子弟約30人(17~25才) 子供の最低小学校
卒以上である。1982年卒業見込。
- ⑦ 所属国 - マレーシア
- ⑧ 使用言語 - マレー語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小規模の農家子弟に雇用、機会を与えるための技術訓練を実施する新しい
700名以上の計画がある。訓練終了後、各村で自給運営する計画
が立てられており、より実質的な修理技術と身に付けた人材を必要とする。

(4) 隊員の資格条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 業務経験なし
○ 3年以上の経験
○ 2級カッパシンの整備士資格